

# 福井しあわせ元気国体2018

第73回 国民体育大会

織りなそう 力と技と美しさ



平成30年(2018年)9月29日(土)～10月9日(日)

## バレーボール

## 試合結果速報

NO.22

<b>種別</b>	少年女子	<b>会場</b>	三国体育館		
平成 30 年 10 月 7 日		日曜日 第 3 日自			
G ユート		第 4 試合			
<input type="checkbox"/> 1回戦 <input type="checkbox"/> 2回戦 <input type="checkbox"/> 準々決勝 <input type="checkbox"/> 5・7位戦 <input checked="" type="checkbox"/> 準決勝 <input type="checkbox"/> 3・4位戦 <input type="checkbox"/> 決勝					
(該当する種別にレ印)					
<b>◎試合結果</b>					
勝利チーム <b>東京都</b> 3 <small>都道府県名</small>		23 — 25 25 — 14 25 — 20 25 — 22 — —	1 <b>千葉県</b> <small>都道府県名</small>		
設定時刻(プロ記載時刻) 14 時 50 分		開始時刻 14 時 50 分		終了時刻 16 時 29 分	
<b>【審判員】</b>					
主 審： <u>野村 恒人</u> 副 審： <u>西出 篤史</u>					
記録員： <u>斉藤 網樹</u> A・S： <u>森田 萌</u> A・S： <u>光森 万桜</u>					
【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)					
設定時刻(プロ記載時刻) 時 分		開始予定時刻 時 分		組合せ VS	

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
	16:50	酢原 千帆	河井	斎	

受信時間	記録本部
16:47	酒持

# 福井しあわせ元気国体 2018

第73回 国民体育大会 織りなそう。力と技と美しさ

平成30年(2018年)9月29日⑤~10月9日④



審判副委員長  
*[Signature]*

## バレーボール

## 戦評用紙

種別 **少年女子** 会場 **三国体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **7** 日 日曜日 第 **3** 日目

**G** コート 第 **4** 試合

1回戦  2回戦  準々決勝  5・7位戦  準決勝  3・4位戦  決勝

### ◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム <b>東京都</b> 都道府県名	<b>3</b>	<b>23</b> - <b>25</b>	<b>1</b> <b>千葉県</b> 都道府県名
		<b>25</b> - <b>14</b>	
		<b>25</b> - <b>20</b>	
		<b>25</b> - <b>22</b>	

### 【審判員】

主審: 野村 恒人 副審: 西出 篤史  
記録員: 斉藤 綱樹 A・S: 森田 萌 A・S: 光森 万桜

### 【戦評】

記載者: 中村 英樹

インターハイ覇者の東京都(下北沢成徳)と関東対決となる千葉県(市立船橋)の準決勝。

第1セット、両チームもつれる展開だが、千葉は序盤セッター雑賀の2アタック等でリードを広げる。後半に東京に野呂と大崎の連続ブロック等で2-3-2-3に追い付かれるが、25-23で千葉が先取した。

第2セット、東京はセンターの大崎と宮地のブロード攻撃などでリズムはのり、1-1のタイに戻す。

第3セットももつれる展開だが、東京の仁井田のライトからの目の覚めるスパイクや石川の好返球などで2-5-2-0で東京が取り、息を吹き返す。

第4セット、後がない千葉は大村の時間差攻撃や東京の高橋のセンター攻撃を防ぐ等で中盤一時3点の差をつけるが、東京の仁井田のスパイクやブロック等で逆転される。最後は東京・石川のスパイクで試合を決した。

東京は選手1人1人が個々に活躍し、カバーし合うチームだが、明日の決勝はチームが1つにまとめるとどのようなチームになるのか楽しみだ。

# 福井しあわせ元気国体2018

第73回 国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年)9月29日(土)～10月9日(日)



NO.21

## バレーボール

## 試合結果速報

種別	少年女子	会場	三国体育館	
平成 30 年 10 月 7 日	日曜日	第 3 日目		
H	コート	第 4 試合		
<input type="checkbox"/> 1回戦 <input type="checkbox"/> 2回戦 <input type="checkbox"/> 準々決勝 <input type="checkbox"/> 5・7位戦 <input checked="" type="checkbox"/> 準決勝 <input type="checkbox"/> 3・4位戦 <input type="checkbox"/> 決勝				
(該当する種別にレ印)				
◎試合結果				
勝利チーム				
大阪府 3	}	25 - 20	1 大分県	
都道府県名		25 - 18		都道府県名
		18 - 25		
		25 - 12		
設定時刻(プロ記載時刻)	開始時刻	終了時刻		
14 時 50 分	14 時 50 分	16 時 20 分		
【審判員】				
主審: 川瀬 敏裕		副審: 池上 宗継		
記録員: 山竹 良治 A・S: 西木戸 八重 A・S: 前田 巳奈				
【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)				
設定時刻(プロ記載時刻)	開始予定時刻	組合せ		
時 分	時 分	VS		

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
	16:45	酢原	千寿丸		

受信時間	記録本部
16:38	

# 福井しあわせ元気国体2018

第73回国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年)9月29日～10月9日

審判副委員長

*Watanabe*

## バレーボール

### 戦評用紙

種別	少年女子	会場	三国体育館														
平成 30 年 10 月 7 日	日曜日	第 3 日目															
H	コート	第 4 試合															
<input type="checkbox"/> 1回戦 <input type="checkbox"/> 2回戦 <input type="checkbox"/> 準々決勝 <input type="checkbox"/> 5・7位 <input checked="" type="checkbox"/> 準決勝 <input type="checkbox"/> 3・4位戦 <input type="checkbox"/> 決勝																	
◎試合結果		(該当する種別にし印)															
勝利チーム <b>大阪府</b> 3 <small>都道府県名</small>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>25</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>25</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td> </td><td>—</td><td> </td></tr> </table>	25	—	20	25	—	18	18	—	25	25	—	12		—		<b>1 大分県</b> <small>都道府県名</small>
25	—	20															
25	—	18															
18	—	25															
25	—	12															
	—																
【審判員】																	
主審: <u>川瀬 敏裕</u>		副審: <u>池上 宗継</u>															
記録員: <u>山竹 良治</u>		A・S: <u>西木戸 八重</u> A・S: <u>前田 巳奈</u>															
【戦評】 <span style="float:right;">記載者: <u>東山 裕紀</u></span>																	
<p>準決勝戦は、大阪府代表（金蘭会単独チーム）対大分県代表（東九州龍谷単独チーム）の対戦となった。両校は2018年1月、春高バレーの決勝戦でも対戦している好カードである。</p> <p>第1セット序盤は一進一退を繰り返していたが、中盤の大阪府・宮部のジャンプサーブで3連続サーブミスエースを取るなど流れをつかみ、そのまま逃げ切った。</p> <p>第2セットも序盤から効果的なブロックでリードした大阪府は、終盤、西川や中澤のスパイクが決まり、2セット連取した。</p> <p>第3セットは大分県が盛り返し、平山・合屋のスパイクやブロックで序盤をリードした。中盤、梅津のスパイクも決まり、最後は荒木の3連続得点で1セット取り返した。</p> <p>第4セットは序盤から大阪府の多彩な攻撃が決まり、大阪府が大きくリードしたまま終盤を迎えた。最後は中澤のスパイクやブロック、曽我のフェイントなども決まり、3-1で勝利を収め、決勝戦に駒を進めた。</p>																	